

日中省エネルギー・環境ビジネス推進協議会(JC-BASE) 2021年度 事業報告

日中省エネルギー・環境ビジネス推進協議会(JC-BASE)は、2006年に東京で開催された「第1回日中省エネルギー・環境総合フォーラム」の成果を踏まえ、今後の対中省エネルギー・環境ビジネス推進を図る強力な推進母体として、経済産業省、日本経済界の支援と協力のもと同年12月に設立された。JC-BASEは日本の経済界としては初の日中省エネルギー・環境協力推進の横断的な組織であり、設立以来、事務局を務める一般財団法人日中経済協会と緊密な連携を図りながら、日本企業の対中省エネルギー・環境ビジネス推進のためのサポートに努め、ビジネス拡大に向けての障害や問題の克服に向け様々な事業活動を展開してきた。

中国での省エネ・環境関連ビジネスに関心を有する日本の企業や産業団体が参加しており、2022年3月現在の企業・団体会員数は118社・団体となっている。

今年度も引き続き会員企業・団体の協力を得ながら、下記の通り事業を実施した。

1. 「第15回日中省エネルギー・環境総合フォーラム」開催への協力

新型コロナウイルス感染症の影響により両国の往来が制限される中、第15回フォーラムも日中双方に会場を設置してオンラインで接続する形式で開催された。アジェンダは昨年度と同様に午前中は全体会議、午後は4分科会が開催され、活発な交流が行われた。

当日に向けて、当協議会は自身のネットワークを活用して会議内容をより充実させるために各産業界や企業・団体のニーズの把握や調整を行い、中国側との調整を行った。

「第15回日中省エネルギー・環境総合フォーラム」概要	
開催日	2021年12月26日(日)
場 所	ザ・プリンスパークタワー東京(日本会場) 全体会議：国家発展改革委員会、分科会：東方宮大酒店、中国機電商会(中国会場)
開催方式	日中両会場をオンラインで接続。参加者は会場かオンラインのいずれかでの参加。
主 催	[日本側] 経済産業省、日中経済協会 [中国側] 国家発展改革委員会、商務部、中国駐日本国大使館
会場出席者	<日本会場> 萩生田 光一 経済産業大臣 山口 壯 環境大臣 宗岡 正二 日中経済協会会長 孔 鉉佑 中国駐日本国特命全権大使 ※日本会場にて登壇

	保坂 伸 資源エネルギー庁長官 <中国会場> 何 立峰 国家発展改革委員会主任 任 鴻斌 商務部副部長 ※会場参加に加えてオンライン参加を設定しつつ、日本側約 480 名、中国側約 270 名の申し込みがあった。
プログラム	午前:全体会議 (開幕挨拶、日中協力モデルプロジェクト文書紹介、講演、日中企業代表講演) 午後:分科会 ①エネルギー効率の向上 (省エネ) ②自動車の電動化・スマート化 ③水素・クリーン電力 ④日中長期貿易 (水環境対応と汚泥処理)
協力合意案件	11 件

2. 「日中省エネルギー・環境技術データバンク」のリニューアル

2009 年に作成した「日本企業の省エネルギー・環境関連設備技術一覧 (以下、技術一覧)」(<https://jepage.jp/tec/>) を 2021 年 12 月 10 日にリニューアルオープンした。具体的には、サイトデザイン等を刷新して、名称も「日中省エネルギー・環境技術データバンク (以下、データバンク)」に改めた。

技術一覧は中国の政府、企業、機関等に対して、日本の省エネルギー・環境分野における製品や技術などを紹介するプラットフォームであり、毎年更新を重ねてきた。2020 年度以降は新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大し、日中間においても人的往来が長期間制限される中でウェブツールの重要性が高まっている。これを受け、2021 年度はより使いやすく見やすいサイトデザインすべくリニューアルを行った。

(1) ウェブデザインの刷新とモバイル表示対応

技術一覧は基本的に手動で五十音順に企業名を並べて一覧にした「表」ページだった。そのため、文字やアイコンが小さく読みづらい、検索がしづらい、日本語ページと中国語ページで分かれていて情報が分断されている、などの課題があった。特に、2020 年度にアクセス解析を導入して判明した最大の問題は、中国からのアクセスの大半がスマートフォンから閲覧しているにもかかわらず、当サイトはスマホ表示に対応していなかった。そこで、これらの課題に対し、予算の許す限り改善を行った。



さらに喫緊の課題であったスマホ表示への対応を行った。これにより、スマートフォンでもパソコンのデスクトップと同じように表示でき、ストレスなく閲覧できるようになった。(左図)

またオンラインでの PR 活動に SNS のシェア機能は今や必須であることから、中国企業（担当者）によるシェアを想定し、WeChat と Weibo にサイトの URL をシェアできるボタンを設置した。



企業からの連絡方法も変更した。これまで「技術一覧」は掲載資料内に企業の連絡窓口の記載があり、関心を持った中国企業が直接に連絡できる（事務局による仲介は不要）ことをユーザーメリットとしていたが、各企業の連絡担当者の個人情報保護・管理の問題や、より信頼性のあるマッチングを目指し、事務局が一元的に連絡窓口となる方式に変更した。

さらに、中国側が興味を持った日本企業に連絡できるよう各技術に「連絡ボタン」設置した。まず、中国企業はこのアイコンをクリックすると表示される上図の連絡フォームから簡単に内容を記入して送信する。次にこのメッセージを受信した事務局は送信者に具体的な内容をヒアリングし、掲載企業に仲介する仕組みである。

以上の結果、リニューアル前後 2 か月で比較したところ、アクセス状況に改善がみられた。

- 1 日あたりの平均アクセス数：8.25 回→22.65 回（約 2.75 倍）
- 中国からのスマートフォンによるアクセスの直帰率：87.50%→70.38%

（2）一覧性・検索性の向上ため、掲載内容をデータベース化

技術一覧で企業や技術を探すには、手動で企業を五十音/ピンイン順で並べた分野ごとのページを見るか、「社名」か「技術・設備名」かでキーワード検索する必要があった。これに対し、リニューアルされたデータバンクでは、まず掲載企業のあらゆる情報を SQL（データベース言語）でデータベース化し、社名、技術名、紹介文などデータベースに横断的に登録されている情報の中から一致する情報を検索結果として表示することができる。

結果の表示方法についても、技術一覧では企業が五十音/アルファベット昇順に表示されるため、ページ上部に多い「あ」や「A」から始まる企業にアクセスが集中していた。データバンクでは五十音/ピンイン/アルファベットの昇順および降順の計 6 パターンをランダムに表示させることで、従来の表示の偏りを最小限に抑えている。

またデータベース化により、掲載にかかる登録・更新作業も簡素化された。新規登録や掲載内容の更新作業は、これまで事務局と企業の担当者間で資料や修正作業を個別にやり取りし手作業で取りまとめていた。しかし、リニューアル後はウェブ上の登録フォームに必要情報を入力、営業資料等各社自前の資料をアップロードするシステムに変更したため、利便性が大幅に向上した(左図参照)。

また、従来の年1度の更新ではなく通年で登録・修正・削除ができるようになり、情報を最新の状態に保ちやすくなった。

(3) メールマガジンでの告知や配信、SNSでのシェアなどオンラインでのPRを展開

例年 JC-BASE 会員並びに日中経済協会賛助会員へのメーリングリストを中心に PR していたが、今年度は中国現地の日系経済団体、中国の関連機関、業界団体などの協力を得て広くデータバンクの告知を行った。主な告知先は近畿経済産業局 (Team E-Kansai)、関東経済産業局 (国際課) のほか、中国の日本人商工会 (中国日本商会、瀋陽、大連、黒竜江省等) など。このほか、上海領事館からカーボンニュートラルに関する日中交流イベントでデータバンクのチラシを配布するなどの協力も得た。

リニューアル後のアクセス元を調べると華北地方の天津、東北地方の瀋陽と大連でアクセス数が増加しており、現地日本商工会などを通じた積極的な告知が要因だと考えられる。

(4) 中国の業界団体等にも積極的に周知し活用事例を創出

日本企業向けの告知に加えて日本の省エネ・環境技術に関心を持つ中国の業界団体等にもデータバンクを PR した。主な告知先は中国機電産品輸出入商会 (フォーラム日中長期貿易分科会の中国側実務担当)、天津経済技術開発区 (TEDA)、国家級経済技術開発区绿色发展連盟、浙江省開発区協会などである。具体的には、中国で多く利用される SNS「WeChat (微信)」での共有や、WeChat 閲覧用の紹介記事を作成してもらい、情報拡散に協力いただいた。

このほか、各産業分野の会員企業を持ち、オンラインマッチングを多数開催している中国機電産品輸出入商会からマッチング交流会の提案があり、目下開催に向け調整を行っている。

3. JC-BASE の運営

(1)連絡会の実施

次の通り実施した。実施の背景としては、分科会をはじめとする実施内容についての報告や、フォーラムの開催方式、内容等に関する意見交換、また日本側会場の見学やオンライン開催に関わるリハーサル実施のためである。

<第1回>

日 時：2021年11月12日（金）16:00～17:00

会 場：ザ・プリンスパークタワー東京 ボールルーム

議 案：第15回フォーラム開催に向けた準備状況報告、業界団体との情報交換、会場見学

- (1) 開催日程案
- (2) 今後のスケジュール
- (3) 分科会について
- (4) 調印案件募集
- (5) 意見交換
- (6) 会場見学



(写真：会場見学の様子)

<第2回>

日 時：2021年12月17日（金）14:00～18:00

会 場：ザ・プリンスパークタワー東京 ボールルームほか

議 案：第15回フォーラム開催に向けた準備状況報告、オンラインリハーサル

- (1) 開催概要
- (2) 会場、受付、警備
- (3) 全体会議
- (4) 分科会について
- (5) その他、意見交換
- (6) オンラインリハーサル



(写真：意見交換の様子)

(2)JC-BASE 会員に対するメール情報サービス

2021年度情報提供回数:10回（第460号～第469号）

以上